

平成最後の出初式

1月5日、町民センターで平成31年南宗谷消防組合中頓別消防団出初式が挙行されました。

当日は好天に恵まれ、人員報告のあと、星川団長をはじめ、副管理者である小林町長、来賓の方々による閲団が行われました。

式典では、星川団長から「昨年は全国的に自然災害が発生。胆振東部地震では尊い人命が奪われ、当町では停電により住民生活や産業に大きな影響が及んだ。今年も団員一丸となり、町民の安心安全、郷土の繁栄に努めていきたい」と訓示がありました。

寿スキー場リニューアル！	2
まちの話題	4
information	6
地域おこし協力隊通信	8
ダリン&ジャクレンのALT通信	9
保健師さんの健康宅配便	10
図書室だより	11
戸籍だより・編集後記など	12



中頓別町寿スキー場

リフトリニューアル・ロッジ改修工事

改修の経緯

寿スキー場は、昭和55年12月から運用が開始されており、建設から30年近くが経過しているため、シングルリフトなど設備の老朽化が問題となっておりました。

今年度は、スキー場の管理・運営に必要な設備の更新を行うとともに、多目的トイレの設置といったロッジのバリアフリー化、児童・幼児の利用などを想定したペアリフト化を行いました。



リニューアルのポイント

ペアリフト導入

シングルリフトからペアリフトになったことで、リフトに慣れていない子どもが保護者と一緒に乗る事ができるようになりました。また、リフト乗り場までの段差を解消し、滑走からリフトへの乗り込みがスムーズにご利用いただけます。

従前どおり、リフト乗降の際には、減速などに対応することのできるため、補助を希望する方は係員にお声かけください。



リニューアル後のペアリフト

トイレの全面改修

ウォシュレットや暖房を備えた多目的トイレ設置。バリアフリーに配慮した広い個室となっており、暖かい便座と暖房により居心地の良い空間となりました。通常のトイレも同様に改修されております。

また、汲み取り式であったトイレを合併処理浄化槽を設置することで水洗化しており児童・幼児でも安全に利用することができます。

ベビーチェアなどを備えた多目的トイレ



安全、そして便利なスキー場へ

毎日の安全な運営のために

毎朝、リフト機械室の雪降ろし、搬器の雪を払う作業は欠かせません。ゲレンデの圧雪は、毎日の積雪量や雪質を見ながら、その日に合った圧雪が必要であるため、早朝から作業を開始しています。

常に安全安心なゲレンデを保つだけでなく、事故などに備え、リフトの救助訓練やパトロールの方

によるボード救助訓練など、緊急時にも対処できるよう取り組みを進めています。

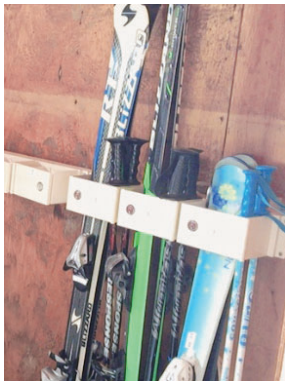
より安全に利用できるように、来年度もロッジの改装を予定しています。来年度は、玄関の段差解消や窓サッシの取り換え、屋根の張り替えや外壁の塗装、床すべり対策などを予定しております。

スノーボードのレンタル

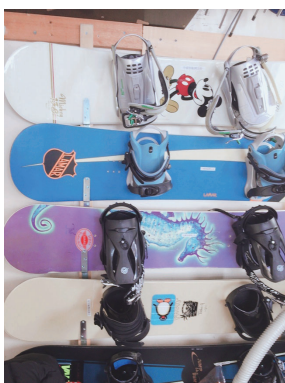
スノーボードは、以前まで一式でのレンタルでしたが、今年度のシーズン途中から単品でのレンタルも開始しております。

スキーロッカーの更新

長さの違うスキー板に合わせてロッカーを選べるようになりました。シーズン通してご利用いただけます。



新しいスキーロッカー



レンタルスノーボード

レンタル用品料金 (円)

スキー	板	1,000
	ブーツ	300
	ストック	200
スノーボード	板	1,200
	ブーツ	300
その他	ロッカー貸し出し	500
	ホルダー	200

- ・歩くスキー 無料 (専用コース有)
- ・子供用ソリ 無料

食堂の方にお話を伺いました！

人気のメニューは味噌ラーメンと醤油ラーメンです。スープもチャーシューも自家製で、安くても本格的な料理を出す事を心がけています。11時半から14時までの短い営業時間での勝負なので、とにかく早く出す。「早い・安い・旨い！」がモットー。

ご飯物では、豚丼やカツカレーも人気があります。甘辛いタレを絡めた豚肉に紅ショウガのアクセントが効いた豚丼、分厚いカツを惜しみなく乗せ、たっぷりとルーをかけたカツカレー。普段はラーメンを食べている方にも、ぜひ一度試していただきたいメニューです。

よくスキー場利用していないと食事出来ませんかと聞かれますが、そんなことはありません。お食事だけでのご利用もお待ちしております。

子ども用の取り皿やフォーク・スプーンもご用意しておりますので、お気軽に厨房のスタッフにお声がけください。食堂にはベビーベッド・子供用椅子も完備しておりますので、ご自由にお使いください。



ラーメン仕込みの様子



絶品！醤油チャーシュー

大人への第一歩

平成31年中頓別町成人式

1月13日、平成31年成人式が行われ、スーツや振袖に身を包んだ11名の新成人が出席。

式典では、小林町長からの式辞、村山議長と三好道議からお祝いの言葉と激励の挨拶がありました。続いて、新成人代表から「これから一人の人間として日々成長し、夢や目標を実現できるような大人になりたいと思います。それと同時に、

成人としての自覚を持ち、社会に貢献していきます」と二十歳の決意が述べられました。

式の最後、放課後子どもプラシの児童から絵手紙と押し花のしおりが手渡されました。

式典後には、新成人を祝う会が行われ、両親への手紙、恩師からの祝いメッセージや中頓別吹奏楽団の演奏があり、二十歳の門出を祝いました。



ピンネシリこどもキャンプ

本気のかまくらづくり

1月19日、ピンネシリこどもキャンプが行われました。今回は道の駅にある雪山を3組に分かれて「かまくらづくり」を行いました。昼食時間以外はひたすらに雪を掘り、それぞれのメンバーが入れるくらいの大きなかまくらができました。最後は焚き火でおやつタイム。子どもたちは、達成感溢れる素敵な笑顔を見せてくれました。



自然の中は学びの宝庫

教育と地域づくり研修会

1月23日、講師としてNPO法人グリーンウッド自然体験教育センター代表理事の辻英之さんをお招きし、教育と地域づくり研修会が行われ、自然体験を通じた教育と地域づくりについてお話いただきました。

教育による地域づくりの実践を紹介いただき、中頓別町で何ができるのか考えるきっかけとなりました。



しばれに勝る熱気 北緯45度しばれまつり

1月26日、天北線メモリアルパークで、第36回北緯45度しばれまつりが開催されました。

会場には個性あふれる雪像が立ち並び、大崎上島町物産品販売などが行われ、活気にあふれていました。

夕方からは夜の部が開幕。ロータリークラブによるもちまきには多くの来場者が集まり、大いに盛り上がりしました。



姉妹都市との交流 大崎上島町交流団来町

1月25日から3日間、大崎上島交流団が来町しました。

旧東野町(現大崎上島町)出身であり、中頓別町を開拓した檜原民之助氏の記念碑を訪れ、両町の縁を結んだ開祖に思いを馳せました。

寿スキー場では圧雪車の試乗やリフトを体験。その後は北緯45度しばれまつりに参加し、冬の寒さを楽しみました。



ドローンで情報収集 (株)細建×枝幸警察署

1月28日、(株)細建と枝幸警察署による小型無人機(ドローン)による情報収集等に関する協定締結式が行われました。

今回の協定により、中頓別町で災害などが発生した際、被害状況の把握、救助活動に関する情報収集での活躍が期待されます。また、道警との小型無人機に関する協定としては道内初となります。



練習の成果を披露！ こども園生活発表会

2月2日、認定こども園で生活発表会が行われました。

園児たちは、練習の成果を保護者たちに見せようと、個性豊かな衣装を身にまとい元氣溢れる発表を披露。

ステージの上で一生懸命に踊っていたいけな姿に、見守る保護者や地域の方々にも笑顔があふれ、会場はあたたかい雰囲気になりました。



旧松田商店の店舗及び敷地の寄附受け入れについて

昨年、旧松田商店の店舗及び敷地を、「町の方で役立ててもらえるなら寄附したい」と所有者より申し出がありました。町ではその申し出を受けて、各課で協議をした結果、住民活動や福祉的事業の拠点としての活用が見込まれたことから、寄附採納審議会にて審議を行いお受けすることを決定致しました。町では、今後とも寄附の申し出があった場合には、寄附採納審議会での必要性を審議して受入れの是非を問うものとしております。

今回、寄附を頂きました旧松田商店は、町内中心部に位置しており、地域住民が集まりやすいという地理上の利点に加え、建物の構造や設備等が整っていることから、特に1階店舗部分につきましては、あらゆる年代層の町民が気軽に訪れることのできる地域交流の場としての活用を前提に、地域住民の活用拠点として、あるいは、現在、保健センターで展開している「なかとんカフェ」の将来の出店先としての活用を予定しています。

2階の居住スペースは、当面、防災備品の備蓄庫として、また、1階車庫兼倉庫には「花とみどりのまちづくり」で使用しています花樽の冬期間の置場として活用することとしております。今後とも、町で寄付を頂いた物件につきましては、活用の方法を明確にして、しっかり管理していきたいと考えています。

宝くじ助成金でイベント用品を整備しました！

中頓別町自治会連合会では、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業により、イベント用品を整備しました。この事業は、同センターが全国自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源として、住民のコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るとともに宝くじの普及広報を目的に行われています。

イベント用品の整備により、町内で実施する各イベントで地域のコミュニティ活動が推進され、一層の地域活性化が期待されます。

整備したイベント用品

- ・ イベント用テント 4 張
- ・ イス 75 脚
- ・ イス台車 2 台
- ・ テーブル 67 台

北緯 45 度しばれまつりで
使用されました！



今回は「年金相談サービスの紹介」ということで、年金にわからないことがあったときの相談方法と用意するものについてご案内します。

どのように相談できるの？

年金事務所に相談する方法は、窓口相談・電話相談・文書での相談・FAX相談の4種類があり、それぞれ相談の際に必要な書類が異なります。また、ご本人が相談することが難しい場合には他の方に相談を委任することができます。

－ 窓口での相談（中頓別町の最寄りの年金事務所は稚内年金事務所になります）

事前に電話で予約しておくとおスムーズに相談できます。当日の予約も可能です。また、相談窓口では源泉徴収票や納付書などの書類の（再）交付申請が行えます。年金事務所でお渡しできない書類は後日郵送で届きます。

・相談する際に持参するもの

1. 年金手帳や年金証書などの「基礎年金番号」がわかる書類
2. 身分証などの本人確認ができる書類

※ 運転免許証やマイナンバーカードなどはどちらかひとつでも問題ありませんが、国民健康保険被保険者証や年金手帳など一部の身分証は2種類用意する必要があります。

－ 電話での相談

電話での相談の場合、身分証などでの本人確認ができないため、口頭でいくつか質問があります。受取先金融機関などの一部の個人情報に関わる内容は電話で回答できません。

・相談する際に手元に必要なもの

1. 年金手帳や年金証書などの「基礎年金番号」のわかる書類

－ 文書での相談

年金事務所に行くことが難しい場合や、電話相談が難しい場合には文書を送付して相談が可能です。

・同封するもの

1. 年金手帳・年金証書などの日本年金機構が送付した基礎年金番号がわかる書類のコピー

－ FAXでの相談

FAXでの相談では、FAX相談用の様式に記入して最寄りの年金事務所に送ることで、数日以内に受付されたことがFAXで返信されます。個人情報に関わる場合は郵送、個人情報に関わらない一般的な質問についてはFAXで回答が届きます。必要な記載事項が書かれていない場合や年金事務所の情報と一致しない場合はその旨が郵送で届きます。

代理人の方が相談する場合

ご本人と相談する方の関係によって必要書類が異なります。ご家族の方が相談する場合は原則として委任状が必要になります。詳しくは日本年金機構ホームページを確認するか、事前に年金事務所にお問い合わせください。

詳しく知りたい・わからないことがあったときは
稚内年金事務所 お客様相談室（0162-74-1000）
または日本年金機構ホームページをご覧ください。

国民年金

検索

地域おこし協力隊通信

第17号

最北氷筍スノートレッキングツアーが始まりました！

1月20日から、そうや自然学校が主催する最北氷筍スノートレッキングツアーがスタートしました。

スノーシューやスキーシューを履いて、道中自然観察をしながら中頓別鍾乳洞内に厳冬期だけに現れる氷筍を鑑賞しに行くトレッキングツアー。最盛期には最も大きいもので高さ150センチを超えるものまで！そうや自然学校スタッフの北川隊員と加藤隊員がガイドしております。日本最北の鍾乳洞が生み出す氷の芸術をぜひ見に行きましょう！

氷筍（ひょうじゅん）とは？

鍾乳洞内の天井部から少しずつ滴り落ちる水が地面で瞬時に凍り付き、それが繰り返されることによって、まるでタケノコのように氷筍が伸びていきます。限られた自然条件が重なり、日本国内でも限られた場所で見ることが出来ない自然が生み出す氷の芸術品です。



氷筍、順調に成長しています！

◇期間：1月20日～3月31日

※ 変動する可能性があります。

◇料金：大人 1,200円

高校生 600円

小中学生 500円

◇予約・問合せ：そうや自然学校

TEL：01634-8-3611

mail：souyashizen@ipstar.ne.jp

「なかとん生活エッセイ」第4弾！

協力隊員月替わりのリレーエッセイ第4弾。今回は役場内に務める山下隊員がお送りいたします！

【南国移住者の北国振返リエッセイ】

中頓別に移住してから2度目の冬の季節を迎えました。しんと降り続ける雪を見ていると、去年初めて体験した北海道独特の冬の記憶が寒さと共に鮮やかによみがえってきます。

一昨年（2017年）に雪が降り始めたのは11月中旬だったと覚えています。自分は中頓別に来るまでは北海道や東北地方などの「雪国」で暮らしていた経験が無く、26年間を九州・中国地方の暖かい地方に住んでいました。そのため自分にとって雪とは、「もうここまで寒くなったのか・・・」としみじみ感じる季節の風物詩でした。この時点では九州に暮らしていた頃の感覚で、「明日明後日には溶けて無くなっているだろう」と楽観視していた雪ですが、ここからが本当の北海道生活の始まりでした。

最初の驚きは日々の天気予報です。最低気温がマイナスとなるのは今までも経験が有りましたが、よく見ると最高気温さえも同時にマイナスと表示されています。「大丈夫かな？」と不安のある一方で、玄関を出て初めての氷点下の世界に出た時は、「冷蔵庫より寒いぞ！」と年甲斐もなくはしゃいでいた事を覚えています。

次の驚きは毎日氷点下のため自身の寒さへの感覚が変わった所です。降り積もる雪は風景をどんどん白一色の世界へと変化させていきました。ここまで寒さが続くと感覚が変わってきたのか、氷点下一桁の日を暖かく感じるようになっていました。寒冷地生活への順応とはこういう事かな、と一人納得していました。

これまでの生活を振り返ると、雪道の運転や雪かきなど慣れない部分はまだまだ有ります。ですが、それらの苦勞を補ってあまりある北海道、中頓別の「白銀の世界」をこれからも体験していこうと思います。



見たことない
景色を探しに！

「中頓別町地域おこし協力隊」では、日々の活動や生活の様子を発信するブログとFacebookページを開設しています。是非ご覧ください。

「地域おこし協力隊ブログ」は、役場ホームページからもアクセスできます。

ブログ - Facebook



ダリン&ジャクレンの ALT 通信



This article written by Mr. Darin

今月の担当はダリン先生

Aloha Nakatombetsu! With Valentine's Day, just around the corner, maybe your sweet tooth has been craving something sweet to eat - whether it be chocolate, pie, or some pastries! How about a sweet mochi rice dessert? In Hawaii, there are many types of desserts from many different countries, as immigrants came and brought their traditional recipes to perpetuate their unique local cultures. Some of these desserts include the malasada - a fried doughnut from Portugal, gau - a brown sugar Chinese rice cake, turon - a banana spring roll from the Philippines, chichi dango - a sweet mochi from Japan, and many, many more!

Today, I would like to introduce one of my favorite Filipino desserts, Biko, which is a sweet sticky rice cake!

アロハ、中頓別の皆さん！そろそろバレンタイン・デーになるので、スイーツなんか食べたくなるのでしょうか？チョコレートでも、パイでも、甘いものでも。ハワイでは、昔の移民たちが自分の独特な文化を残すために、伝統的な料理の作り方を持ってきました。それで、いろんな国からのデザートがあります。例えば、ポルトガルの揚げドーナツの「マラスダ」、中国からの蒸した餅の「ガウ」、フィリピンからのバナナの春巻きの「トゥロン」、日本からの甘い餅の「チチダンゴ」など。

今日、僕の好きなフィリピンのデザートの一つ、甘いもち米で作られた「ビコ」を紹介したいと思います。

Ingredients (材料):

- ・ 2 cups mochi rice (もち米 2 カップ)
- ・ Water (水)
- ・ 200 ml coconut milk (ココナツミルク 200ml)
- ・ 100 g brown sugar (黒糖 100g)

Directions (作り方):

1. Cook mochi rice in a rice cooker. もち米を炊く。
2. In a saucepan, add 200 ml coconut milk and 100 g brown sugar. Cook until sugar has melted and remove from heat. 小さいフライパンに、黒糖が溶かすまでココナツミルクと黒糖を煮る。火を止める。
3. After rice is cooked, transfer to a mixing bowl and stir in the coconut milk mixture. もち米が炊き終わったら、ボウルに写す。ココナツミルクのものを加え、混ぜる。
4. Line a baking pan with wax paper (or bamboo leaves), spread and pat rice mixture in the pan. 베이킹の型をクッキングペーパー、または、笹を敷いて、米を乗せる。
5. Bake at 180°C for 55 minutes and let cool completely. 180°Cで55分焼く。冷ます。
6. Cool and cut in pan. Enjoy! 一口サイズに切って、召し上がってください。

新しい子育て支援の形 ネウボラについて



新年を迎えて間もないと思っ
ていたら、もう2月です。中頓
別の「しばれ」も本格的になっ
てきました。皆さん体調など崩
してはいませんか。今
回の「保健師さんの健康宅配便」
は、新しい子育て支援の「ネウ
ボラ」についてです。

「ネウボラ」とは
ネウボラといわれても何のこ
とかわからないという人が多い
のではないのでしょうか。
ネウボラは北欧の国フィンラ
ンドの歴史とともに培われた、
出産と子育て家族をサポートす
るシステムです。フィンランド
は長い間の内戦等によって貧困
を招き、その結果妊産婦や子ど
もたちに多大な影響を与え、乳
幼児の死亡率を大きく上げまし
た。そういった背景から、「ど
んな子どもたちにも平等に必要

十分なサービスを提供しなけ
ればならない」という思いの
もとネウボラは誕生しまし
た。

ネウボラとはフィンランド
語で、「助言・アドバイスの場」
という意味です。ネウボラの
基本的な考え方は「妊産婦か
ら乳幼児への切れ目のない支
援」と一般的には言われてい
ます。妊娠から就学前までか
かりつけの保健師が担当の母
子とその家族全体に寄り添っ
ていくというシステムです。
保健師はその家族に継続して
かわつていくため、疑問や
不安に的確に答えてサポート
してくれる、子育てする本人
たちにとっても身近な存在で
す。ここに来れば子どもや家
族のことは何でも相談できる
というワンストップの場所デ
もあります。

ネウボラと日本

フィンランドのネウボラは
100年近い歴史を持つてい
ますが、ネウボラの考え方が
日本に入ってきたのは最近で
す。母子保健法の改正に伴い、
フィンランドのネウボラをモ
デルにした「子育て世代包括
支援センター」が平成29年、
全国各地に登場。中頓別町で
も平成29年4月に「子育て世
代包括支援センター」が開設
しています。

講演会を行いました！

昨年の12月26日、ネウボラ
研究の第一人者である大阪市
立大学の横山美江教授をお招
きして「フィンランドの子育
てに学ぶ講演会」を行いました。
フィンランドの歴史や社
会背景、ネウボラの基本、日
本の制度との違い、日本版ネ
ウボラの取組み事例などをお
話しいただきました。また、
中頓別町在住のエルホルム・
チームさん、山田愛さんご夫
妻にフィンランドでの生活を

中心に中頓別版のネウボラ
についての期待感などもお
話しいただきました。あわ
せて私のフィンランド視察
の報告も行わせていただき
ました。

子育て中のお母さん、一
般の町民の方々、子育て支
援に携わる方、近隣の自治
体の保健師などいろいろな
方に来ていただき、とても
充実した研修会となりました
！

「中頓別版ねうぼら」に向 けて

中頓別町では従来より保
健師が妊婦や乳幼児の訪問
や相談、健診などを行って
います。今は加えて子育て
世代包括支援センターの助
産師や相談員が、妊娠前か
ら18歳までのお子さんのこ
とについて、きめ細かい訪
問を行ったり、専門的な相
談を受けられる体制をとっ
たりしています。

中頓別町ではこの体制を

より良いものにしてくだ
め、「中頓別版ねうぼら」
を創っていかうと考えてい
ます。これからの「中頓別
版ねうぼら」の展開にご期
待ください！



チームさんと山田さんご夫妻



12/26 講演会の様子

図書室だより

一般書

『日本国紀』

著：百田 尚樹 幻冬舎



私たちは何者なのか。
当代一のストーリーテ
ラーが平成最後の年に送
り出す、日本通史の決定
版！

児童書

『みずとはなんじゃ？』

著：かこさとし 小峰書店



生活の中で出会う水を
通して水の不思議な性質
を知り、自然環境に目を
向けるきっかけをつくる
科学する心を育む絵本。
かこさとしさんが手がけ
た最後の絵本です。

新着図書 (1月20日現在)

一般向け図書

- | | |
|--------------|--------|
| 『志麻さんの自宅レシピ』 | タサン 志麻 |
| 『フーガはユーガ』 | 伊坂 幸太郎 |
| 『平成くん、さようなら』 | 古市 憲寿 |
| 『ダンデライオン』 | 中田 永一 |
| 『まれびとパレード』 | 越谷 オサム |

児童向け図書

- | | |
|---------------|----------|
| 『おならひめ』 | 有田 奈央 |
| 『ねずみくんのおくりもの』 | つちだ よしはる |
| 『ごりらかあさん』 | のぶみ |
| 『魔女ののろいアメ』 | 草野 あきこ |
| 『しょくパンにんじゃ』 | 荻田 澄子 |

※その他、多数の本が順次入荷しています。ぜひ、ご来室ください。
また、購入リクエストも受付けていますので、お気軽にお寄せ下さい。

読み聞かせボランティア「このゆびと～まれ♪」の活動

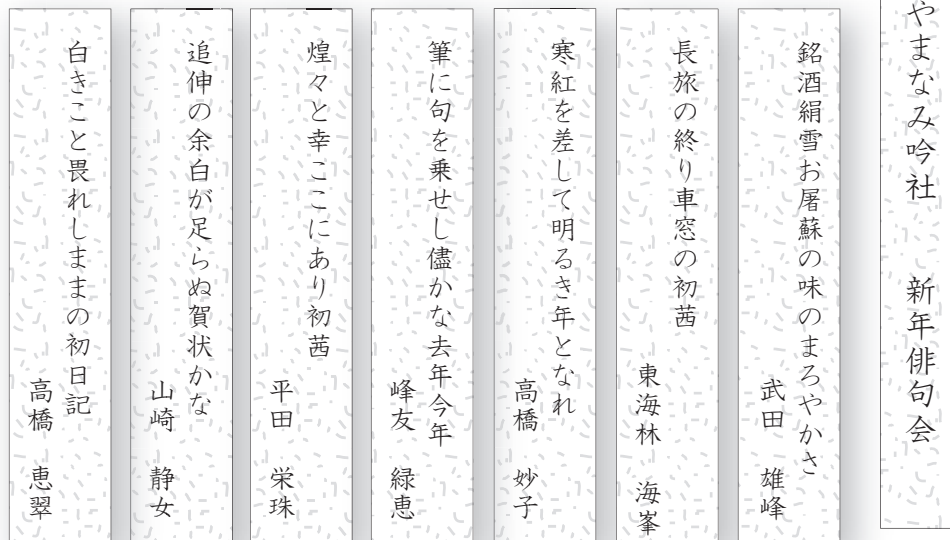
12月13日(木) 小学校での読み聞かせの様子



【お願い】 図書室から借りたままの本はありませんか？
他の方も利用されますので、心当たりのある方は、玄関横の返却ポストを
ご利用のうえ、早めの返却をお願いします。

It is good that we have lived in Nakatombetsu
and we would like to live there for long.

— 住んでいてよかった これからも住んでいたい —



戸籍だより

1月1日～1月31日受付分

(公開にご了承いただいた方の
み掲載しています)

出生・死亡・婚姻に係る人口
の異動はありませんでした。

人のうごき

(平成31年1月31日現在)

世帯 891(-2)

人口 1,726(-4)

男 859(-3)

女 867(-1)

()内は前月対比

職員の懲戒処分公表について

職員の懲戒処分を行いましたので、「中頓別町職員懲戒処分等の基準要綱」に基づき次のとおり公表します。

戒告(12月27日付) 総務課政策経営室 主事

広聴事務に関する遅延と虚偽申告

統計調査に関する遅延と書類一時紛失及び虚偽申告

戒告(12月27日付) 産業課 参事

病気休暇中の不適切な行為(遊技場への出入り)

いずれも地方公務員法の義務違反等による処分です。

編集後記

■そうや自然学校でスノーシュートレッキングツアーが始まっています。私も何度か体験したことがありますが、ライトアップされた氷筍は非常にキレイで、SNS映えすること間違いなしですね。また、氷筍に注目しがちですが、鍾乳洞周辺のフィールドは新たな発見がたくさんあります。シカが雪の下を掘って植物を食べた痕跡、キツネの足跡、冬だからこそできる体験です。一面に広がる銀世界を歩くだけでも楽しいので、みなさんもぜひ体験してみてください。

【スリッパカメラマン☆】

広報なかとんべつ 2月号 Vol.710

【発行】 2019年2月12日

【編集】 中頓別町総務課政策経営室 〒098-5595 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別 172-6

TEL 01634-6-1111 FAX 01634-6-1155

HP <http://www.town.nakatombetsu.hokkaido.jp> e-mail koho@town.nakatombetsu.lg.jp

【印刷】 有限会社 天北印刷工業

* この広報誌は再生紙を使用しています。